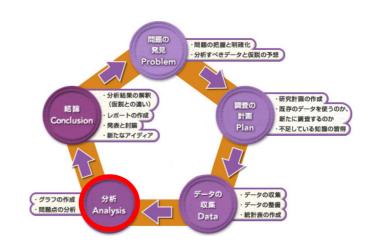
数理・データサイエンス・AI入門

第8回 データサイエンス実践(3)

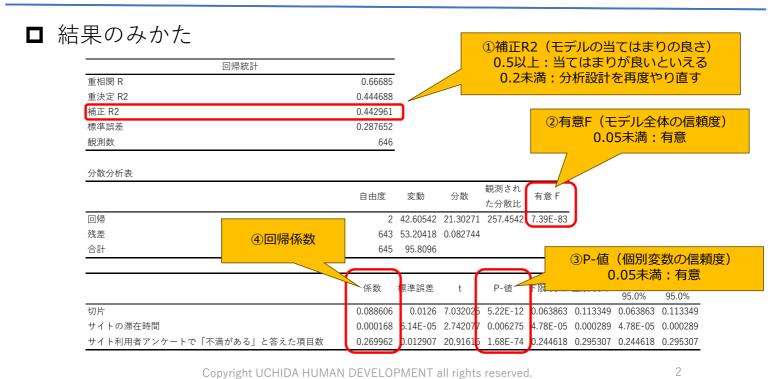
Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

(



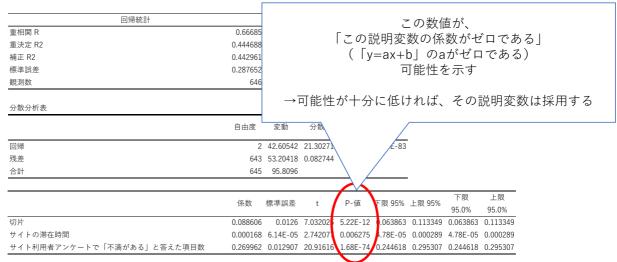
分析の実施

Excelアドイン機能の回帰分析レポート



Excelアドイン機能の回帰分析レポート

- Excelを使った回帰分析では「p値|を確認
 - 説明変数の組み合わせを変えながら、補正R2を高めるモデルを探求していきます



Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

実践演習

演習内容

- □ SDGsの取り組みに課題がある自治体が、なぜ推進されないのかデータ 分析を通じて原因を調査したいと思います
- □ 今日のゴール

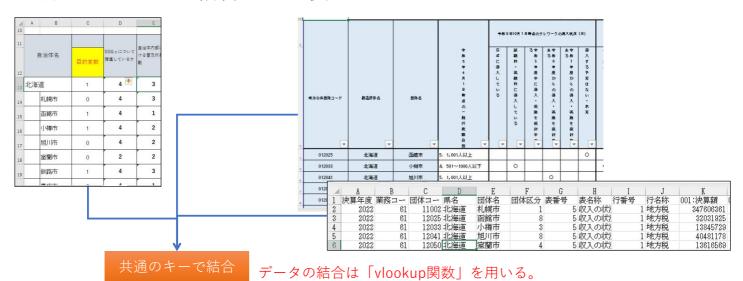
・SDGsの取り組みに対して 課題がない自治体を「0」 課題がある自治体を「1」 として、各自が考えた条件で分類した結果を 「目的変数」の列に記入していきましょう

Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

4

データの結合

■ 正規化されたデータを使う場合や使用データに情報を追加する場合は 別のデータから結合する必要がある



データ結合で使用する関数

■ 「VLOOKUP」

• 指定範囲の中で条件に合致するものを検索し、取り出して入力する関数です。

基本形

=VLOOKUP(【主キーの値のセル】,【範囲】,【範囲の中の何列目か】,【0で固定】)

例

=VLOOKUP(A2, \$A\$4:\$F\$8, 6, 0)

A2に入力されている値をA4からF7の範囲から捜して、 その範囲内の6列目の値を入力する

1	A	В	C	D	E	F
1	キー		結果			
2	ア行		お			
3	1	2	3	4	5	6
4	ア行	あ	L	う	え	お
5	カ行	か	き	<	け	٤
6	サ行	t	L	す	せ	そ
7	タ行	た	5	っ	τ	٤
8	ナ行	な	E	数	ね	o o
9						

注意点

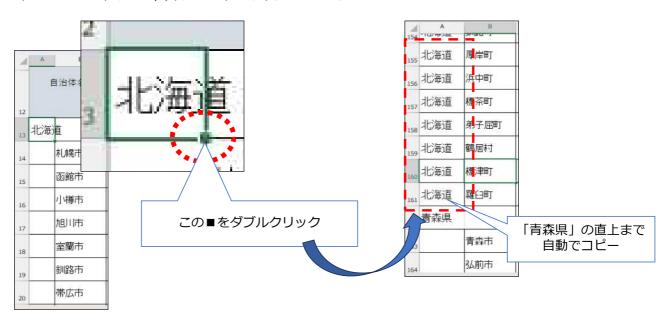
- ✓ 範囲の中でキーより右側の列しか索引できない
- ✓ \$マークの付け忘れで間違いやすい

Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

6

キーの作成

■ 他県にある同一名称の市町村に注意

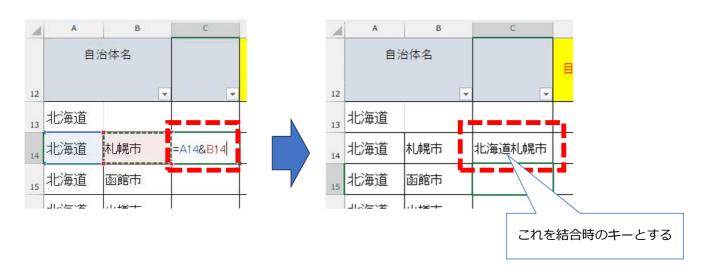


Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

7

キーの作成

- □ 「&」で2つのセルの値を結合できる
 - CONCAT関数を使用することもできます



Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

8

キーを使用して結合

□ ファイルが分かれている場合はシートを移動させて1ファイルに



キーを使用して結合

